

気象情報の収集

★ 防災情報を得られるホームページ

- 杉戸町ホームページ <http://www.town.sugito.lg.jp/>
- 熊谷地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/>
- 国土交通省 川の防災情報 (PC) <http://www.river.go.jp/> (携帯電話) <http://i.river.go.jp/>
- 国土交通省利根川上流河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>
- 国土交通省江戸川河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/>
- 国土交通省荒川上流河川事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/>
- 埼玉県内の雨量・水位 http://micos-sa.jwa.or.jp/metro/saitama/pc_web/

★QRコード★



川の防災情報

★ 熊谷地方気象台から発表される注意報・警報 ※杉戸町の場合

大雨や洪水によって災害が起こるおそれがある場合、気象台から警報や注意報が発表されます。

※発表の基準は平成22年5月以降のものであり、その後も見直される場合があります。

大雨注意報	1時間の雨量が40mm以上	土壌雨量指数—81以上	※土壌雨量指数とは、降雨による土砂災害発生の危険性を示す指標で、土壌中に貯まっている雨水の量を示す指数。解析雨量、降水短時間予報をもとに、5km四方の領域ごとに算出する。
大雨警報	1時間の雨量が70mm以上	—	
洪水注意報	1時間の雨量が40mm以上	流域雨量指数 — 葛西用水流域7以上 — 大落古利根川流域13以上 — 中川流域5以上	※流域雨量指数とは、降雨による洪水災害発生の危険性を示す指標で、対象となる地域・時刻に存在する流域の雨水の量を示す指数。解析雨量、降水短時間予報をもとに、5km四方の領域ごとに算出する。
洪水警報	1時間の雨量が70mm以上	流域雨量指数 — 葛西用水流域9以上 — 大落古利根川流域19以上 — 中川流域8以上	
強風注意報	10分間の平均風速11m/s以上		※「土壌雨量指数」「流域雨量指数」の詳細な説明については、気象庁ホームページをご覧ください。 http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosa/warning.html
暴風警報	10分間の平均風速20m/s以上		

★ 雨の強さと降り方の目安

降っている雨を観察することで、だいたいの雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方と雨量の関係を覚えておきましょう。

	やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上
予報用語 1時間雨量 (mm)					
人の受ける イメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしてもぬれる		傘はまったく役に立たなくなる	
屋内 (木造住宅の場合)	雨の音で話し声がよく聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる		水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

避難時の注意点

★ 正確な情報収集をしましょう。



ラジオやテレビ・インターネット等を利用し、最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

★ 避難の呼びかけに注意しましょう。



洪水の危険が迫ったときには、町役場や消防団等から避難の呼びかけがあります。呼びかけがあった場合には、指示に従って速やかに避難してください。

★ 単独での行動は避けましょう。



避難するときは、できるだけ単独での行動は避け、ご近所にも声をかけ協力して避難しましょう。
運動靴を履き、動きやすい服装にしましょう。サンダルは禁物です。

★ 水面下の危険に注意しましょう。



浸水した場所では、側溝やマンホールのふたがはすれている危険があります。長い棒を杖代わりにして、安全を確認しながら歩きましょう。

★ 逃げ遅れたら高い建物に避難しましょう。



万一、逃げ遅れたら避難所まで行く余裕が無い場合は、近くの丈夫な建物の三階以上に避難して救助を待ちましょう。
建物の二階部分でも場所によっては危険な場合があります。

★ 家を出る前に確認しましょう。



避難する前に、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓をしめ、電話の受話器を元に戻しましょう。
避難先を確認し、親せきや知人にも避難する旨を連絡しておきましょう。非常持ち出し品を忘れずに!

★ 車での避難はやめましょう。



冠水した道路では車が水に浸かり、動かなくなることがありますので、車での移動は大変危険です。
また、道路をふさいで救命活動や水防活動の妨げになることがありますので、車での避難はやめましょう。

★ 歩ける水の深さに注意しましょう。



人が普通に歩ける水の深さは、ひざ下程度までと言われています。避難のときは、できるだけ高さのある道路を通るようにしましょう。
水深が腰まであるようなら高いところで救助を待ちましょう。

★ 避難所では助け合いましょう。



避難所では、大勢の方と共同生活することになります。浸水状況によっては、避難所での生活が数日間にもわたる場合もありますので、ルールを守り、お互い助け合って生活するよう心がけましょう。